

緊急

緊急調査業務に関する情報提供(対応可否)依頼調書

(対応調書)

回答期限

令和〇〇年4月12日13時

被害の概要				協力要請内容			
日時	令和〇〇年4月11日14時			現場着手指示日時	令和〇〇年4月13日13時		
場所	〇〇県〇〇市 〇〇地先			想定工期	10日間		
被災状況				調査概要			
【災害の例】〇〇市〇〇地区において地すべりによると思われる亀裂が〇月〇日住宅敷地内に発生。地盤は約〇cm/日(4月10日現在)で活動しており累積水平移動量は1週間で約〇mとなっている。現在も観測井の水位が上昇していることから、更に被害が拡大する可能性がある。 【突発事故の例】〇〇市〇〇地区においてパイプラインの破損によると思われる道路の陥没が〇月〇日に発生。原因は不明。第三者に被害が拡大する可能性がある。				①地表面の変位観測: 20ヶ所(伸縮計、傾斜計、光波測距儀) ②地中の変位観測: 10ヶ所(新規ボーリング5ヶ所・既設利用5ヶ所、孔内伸縮計・孔内傾斜計) ③地下水位観測: 5ヶ所(孔内水位計) ④被災ヶ所の規模等の簡易測定: 100ヶ所(GPS測量器械等) なお、①～③は観測データのリアルタイム伝送を行う。			
会社名	(株)〇〇調査設計事務所			緊急調査業務の対応		着手可能日時	回答日時
住所	〇〇市〇〇町〇-〇-〇			可能	不可能	令和〇〇年4月13日9時	令和〇〇年4月12日12時
	氏名	所属	役職	電話番号	携帯電話	資格等	対応作業
対応責任者	農林太郎	本社 調査部	調査部長	000-000-0000	090-00000000	技術士(農業土木)、地質調査技士	総括
対応技術者	農林一郎	本社 調査部	調査課長	000-000-0001	090-00000001	技術士(農業土木)、地質調査技士	変位観測
"	農林二郎	本社 調査部	主任	000-000-0002	090-00000002	地質調査技士、測量士	変位観測
"	農林三郎	〇〇営業所 調査課	技師	000-111-0000	090-00000003	測量士	通信設備
"	農林四郎	〇〇営業所 調査課	技師	000-111-0000	090-00000004	測量士	水位観測
特に急を要する作業項目	必要資機材		着手可能日時における搬入数量				計測開始(設置完了)制限日時
	名称	数量					
地表面の変位観測	伸縮計	10	10				令和〇〇年4月14日9時
"	光波測距儀	1	1				

【記載方法】

- ・ 枠内に必要事項を記入する。
- ・ 「緊急調査業務の対応」については、可能・不可能のどちらかに○を付すこと。
- ・ 「現場着手指示日時」は、「特に急を要する作業項目」の設置作業の開始に掛かる制限日時である。
- ・ 「着手可能日時」は、「特に急を要する作業項目」の設置作業を開始できる日時を記入する。「着手可能日時」が「現場着手指示日時」よりも遅れる場合は特定しない。
- ・ 「着手可能日時における搬入数量」は、必要資機材の数量のうち、「着手可能日時」に搬入が可能な数量を記入する。
- ・ 業務にあたる対応責任者、対応技術者を記載すること。

<記載例>

緑字: 北陸農政局記載
赤字: 業者記載